

『一人の笑顔のために』



「あいさつの声が響き合い、笑顔あふれる学校」

令和2年度がスタートしました。全てを例年通りに行うことはまだできませんが、感染症予防対策の徹底を図りながら、教育活動をスタートしました。4月8日(水)には、新2年生・新3年生が全員揃って始業式を行うことができ、大変うれしく思いました。

始業式では、生徒会代表が素晴らしい今年度の抱負を発表してくれましたので紹介します。

おはようございます。みなさんお久しぶりです。

新型コロナウイルスの影響で長い春休みになりましたが、充実した休みにできましたか。

卒業式も参加できず、毎日学校に来るという当たり前のことが、とても大切に思えた1ヶ月でしたね。

いよいよ2年生は3年生に。1年生は2年生に進級します。

3年生は最上級生としてすべての行事が、中学校での最後の行事になります。1日1日を大切に、たくさん思い出をつくっていきましょう。

2年生はいよいよ先輩と呼ばれる立場です。明日入学してくる1年生の良きお手本になるよう、がんばってください。

今年は新型コロナウイルスで、いろいろな行事が変更になったりするかと思いますが、こんな状況だからこそ、みんなで乗り切っていきましょう。

＜生徒会代表 牛島 翔斗＞

そして、9日(木)には、27名の新入生を迎えることができました。

新入生に向けた校長式辞の一部を紹介します。

今日も、新型コロナウイルス感染症予防のために、例年のように体育館で多くの来賓の方々や在校生全員が参加しての入学式ができませんでした。同じように、これからも、学校行事や部活動など、例年通りに実施できない場合もあるかもしれません。しかし、このような困難な時だからこそ、みんなで協力し支え合っていくことが大切になると考えています。いつもと同じようにできないことを誰かのせいにするのではなく、「自分にできることは何か」を考えることができる三加和中生徒であってほしいと思っています。

先月、とても感動するニュースを目にしました。

マスクが不足して困っている状況を知った山梨県の中学生が、お年玉で貯めていたお金でマスクの材料を購入し、マスクを六百十二枚手作りし、困っている人に渡してほしいと山梨県に寄贈したというニュースでした。

お店からマスクが消え、自分のマスクを確保することも困難な時に、自分より困っている人がいるだろうと行動できる中学生には、きっと「だれかの笑顔のために」との思いがあったのだと思います。

そのような温かい行動にあふれた、だれもが安心して通える三加和中学校をみんなでつくってほしいと思っています。

始業式の時に、生徒会の代表が令和2年度の生徒会スローガンを発表してくれました。

One for all All for one

～みんなでつくる一人の笑顔～

この本当の意味は「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」なのだそうです。

実は、4月3日(金)の職員会議で、私は先生方に「だれかの笑顔のために」行動できる生徒の育成を目指す学校でありたいと話をしました。このスローガンを見て、生徒会のみなさんの思いも同じであったことに感動しました。そして、「みんなでつくる一人の笑顔」というフレーズに心打たれました。そこで、本年度の学校だよりのタイトルを『一人の笑顔のために』としました。全職員と生徒で力を合わせ、「あいさつの声が響き合い、笑顔あふれる学校」を目指します。どうぞよろしく願い致します。